

# にじの空通信

2月ですね。この冬は、寒さがいっそう厳しく感じられます。そんな中でも頑張って通院していただき、本当にありがとうございます。

寒くなるほど、布団の中にいると本当に暖かくて、幸せを感じます。自分がシンプルな人間でよかったな、と思います。しかし、平日は時間がきたら布団から出なければなりません。幸せな気分を終了させなければならないのです。

仕方ないので、「エイヤ！」とか「フン！」などと叫びながら、布団から重い体を引き離します。辛いです。

ちょうど、その時の気持ちにぴったりな歌がありました。「打首獄門同好会」というすごい名前のバンドの歌で、「布団の中からでたくない」です。YouTubeでご覧になってみてください。こうぺんちゃんがかわいく、とても癒されます。

動画の中では、こうぺんちゃんが寒さに負けそうになりながらも、最後には布団から出て、外へ出ていきます（仕事があるのかな）。その姿に、困難に立ち向かって覚悟を決め、旅立つ子どもの成長を見届けたような感動すら覚えます。

このバンドは「生活密着型ラウドロックバンド」というカテゴリー（なのか？）で、冬だけでなく、夏の「暑い！」バージョンや、「はたらきたくない」といった日常の“あるある”を取り上げています。どの歌も、ついつい聴いてしまいます。こういうの、好きですねえ。

そう考えると、毎日の生活って、小さな決定や覚悟、そして家に帰ってほっと安らぐことなど、ささやかなドラマを繰り返しているのですよね。

「ほめほめカード」をお渡しした方も多いかと思いますが、歌の中の「布団の中からでえらい」という歌詞のように、日常の小さなことも「よくやっている」と、自分を労る気持ちを持っていただきたいです。

そして、外で頑張ったあとは、家に帰って布団という安らぎに戻り、しっかりチャージしましょう。

「自分なんて、世の中では存在価値のない生き物だ」なんて思わないでください。「自分こそ主役だ」と思い込める歌は、やはり素晴らしいと思います。いいんです、自己満足で。あなたが主役の人生です。

今一度、「ほめほめカード」を見直す機会になりました。打首さんに感謝しよう。ちなみに、ほめほめカードは、船橋の松戸市長にもお渡ししたことがあるんですよ。

ところで、1月に宣言した家庭菜園は、まだ着手できていません(／ω＼)。次の日曜日に、プランターを引っ張り出してくる予定です。宣言しないとやらないので、小さく報告していきますね。